



全国学校事務職員制度研究会

全国大会「島根大会」特集号

全国学校事務職員制度研究会の会誌「子どものための学校事務」102号は、夏に開催されました全国大会「島根大会」を特集しました。



目次

- 1 大会見聞録～GO!GO!しまね!!最終号～
- 2 大会基調提案「子ども発、子ども行き」
- 3 記念講演「格差社会の現実と子どもたちの
生きる・学ぶ・働く権利」
後藤道夫 氏（都留文科大学）
- 4 分科会のまとめ（第1～6分科会）
- 5 大会に参加しての感想
- 6 島根大会をふりかえって

2008年10月31日発行
A5判 64ページ
500円（送料160円）

編集・発行 全国学校事務職員制度研究会

◆ 102号の目玉は記念講演です

格差と貧困の現状を細かいデータをもとに浮き彫りにし、ワーキングプアなどの問題が国の労働政策や福祉政策によって作り出された経緯について説明されました。そして格差と貧困は自己責任などではなく政策的につくられているのだと思いました。

後半では格差と貧困が子どもたちの学ぶ権利にどのような影響を及ぼしているのかが述べられています。

そういう現状を知り、学校事務職員が果たす役割は何か、どのような実践課題があるのかを考えながら「分科会のまとめ」へと読み進めて頂けたら幸いです。

「子どものための学校事務」って？

学校の主人公は「子どもたち」です。その子どもたちが安心して通える学校を私たち大人がつくっていかねばいけません。

全国には様々な実践をしている仲間や、実践があります。

子どもの声を生かした学校をつくるための「子どもアンケート」。その声から校務主事や養護教諭ら教職員との共働は広がっています。また、保護者から集めるお金に悩み、用途を調べ公費化する取り組みや、「遊具での事故をなくしたい」との思いから点検方法を学び、教職員へ投げかけている仲間がいます。

そんな実践や思いがたくさん詰まった会誌です。

子どものための 学校事務



特集：制度研島根大会

No.102 2008.10.

全国学校事務職員制度研究会
http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/
E-mail: seidoken@ha.bekkoame.ne.jp



「注文したい！」と思った方はこちらへ

- 神奈川県横浜市立すすき野中学校 植松直人
〒225-0021
神奈川県横浜市青葉区すすき野3-4-3
TEL 045-901-5896
FAX 045-904-2439
- <http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/>
（「制度研」で検索できます）
- E-mail seidoken@ha.bekkoame.ne.jp